第2回 ワークショップ

モチヨル

旧図書館跡地のこれからをみんなで考えました

第1回の声を振り返り、現地見学を通して、
具体的な使い方・必要なもの・利用する人を話し合いました。

**見学して、持ち寄って、
使い方を具体的に。**



行政から共有した「検討の前提条件」

当日、参加者に提示した内容

本に親しむ機能
図書館の分館は設置できませんが、本と親しむ機能は検討します。

常設と貸館の組み合わせ
いつでも使える機能と貸館を組み合わせ、複数用途での同時利用も考えます。

幅広い世代と時間帯
平日昼間・夜間・土日祝日など、異なる時間帯での利用を考えます。

飲食も検討対象
衛生管理と原状復旧を条件に検討。具体的な方法・設備は確認が必要です。

併設施設と駐車場
南部出張所・サザンクロスとの機能の住み分けや駐車場対策も検討します。

1 開催概要・参加された方

2026年11月3日（火・祝）
13:30〜15:30　旧図書館2階

参加者	グループ	アンケート
50人	8班	42件

年代　70代以上 68.3%（28人／41人）
30代1人・40代3人・50代4人・60代5人

居住地　南部地区 92.5%（37人／40人）

2 ワークショップの評価

全体の満足度	90.0%	36人／40人
話しやすさ・進め方	89.2%	33人／37人
現地見学が参考になった	100.0%	39人／39人
使い方のイメージが具体化	65.0%	26人／40人
次回の参加意向	87.5%	35人／40人

肯定評価＝各設問の上位2選択肢の合計。
参加意向には「都合が合えば」を含みます。

3 市民の声から見える3つの特徴

1 気軽に集い、世代を越えて交流
地域住民・親子・学生などが立ち寄れる憩いの場。

2 本と学びを軸に、多様な活動
読書・学習と、展示・創作・健康教室などの組み合わせ。

3 広さや備品を生かし、使いやすく
間仕切り・備品の再利用と、受付・管理体制への関心。

4 市民の主な意見・使い方

交流・休憩
自由に立ち寄る場、囲碁・健康麻雀、喫茶

本・学び
本・新聞・雑誌、学習・コワーキング

子ども・若者
子どもの部屋、読み聞かせ、若者の活動

文化・健康
展示、映画、竹工芸、体操・スマホ教室

平日昼間：高齢者・親子など／夜間：学生・仕事帰り
土日祝日：全世代・子ども・親子の利用を想定



特徴的な提案
**暑い日の休憩、備蓄、
観光客・学生の挑戦の場**

5 第3回で特に検討してほしいこと

複数回答・回答者38人（延べ106選択）

機能の組み合わせ・部屋の配置	65.8%（25人）
自由利用と貸館利用の両立	60.5%（23人）
駐車場・交通アクセス	55.3%（21人）
静かな利用と音の出る活動	44.7%（17人）
予約・受付の分かりやすさ	26.3%（10人）
移動の負担・バリアフリー	21.1%（8人）
利用できる曜日・時間帯	5.3%（2人）

割合の分母は38人。合計は100%を超えます。

6 残った課題と次回へのつながり

- 飲食を望む声と、学びの場として飲食に反対する声がありました。
- 予算・整備できる範囲、本に親しむ機能、飲食・調理、空調・備品、受付・見守り、駐車場は行政への確認事項です。
- 若い世代の意見を積極的に集めてほしいとの声もありました。

第3回へ：条件を共有し、機能と配置を検討

※掲載意見は一部を整理したもので、件数や賛同の順位を示すものではありません。用途・整備内容・開館時間の決定ではありません。
資料：当日参加者レジュメ、班の記録シート①・②③まとめ、参加者アンケート個別回答42件。割合は設問ごとの有効回答数から算出（小数第1位）。